

道徳科 小学校第2学年 単元名：友だちとなかよくするには (全3時間)

授業者：四万十市立東中筋小学校 飯村智紀 児童生徒：6人

【単元のねらい】

友達と仲良くするにはどうすればいいのかを多面的・多角的に考えることを通して、友達と仲良く活動したり、助け合ったりすることの大切さに気づき、友達と仲良くしようとする心情を育む。

【単元を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・ふわふわことばを使うと、自分も友達もいい気持ちになれるからたくさん使いたいな。
- ・友だちと仲良くするためには、言いにくくてもきちんとして謝ることが大切だと思った。
- ・困ったときには助けてくれたり、助けたりできる友達がいてよかったな。
- ・自分も困ったときに助けてもらって嬉しかったので、次は自分が困っている友達を助けたい。

単元構想

時	実施日(時限)	主題名・内容項目(関連項目)	教材名(出典)	主な学習活動
1	11月11日 (2時間目)	言葉の力 【礼儀 B(8)】	ふわふわことばちくちくことば (廣濟堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが使っているふわふわことばについて考える。 ・ふわふわことばを使われるとどんな気持ちになるのかを考える。 ・ちくちくことばを使われるとどんな気持ちになるのかを考える。 ・気持ちのいい言葉遣いというのはどういうことかを考える。 ・これから友達に使っていきたいふわふわことばはどのようなものがあるのかを考える。
2	11月18日 (2時間目)	友だちと仲良くする 【友情・信頼 B(9)】	言えなかったことば (廣濟堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールをぶつけて謝りたいと思っていたがすぐに謝ることのできなかつたしょうたの気持ちを考える。 ・しょうたの気持ちに共感し、夜、布団の中で繰り返し考えていたことは何かを考える。 ・しょうたのように言いたかったのに、言うことができなかった経験を振り返り、友達と仲良くするためには何が大切かを考える。
3	11月27日 (5時間目) (本時)	ともだちと助け合って 【友情・信頼 B(9)】	森のともだち (廣濟堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンキチが襲われた時に助けた森のみんなと逃げるコンキチの気持ちを考える。 ・けがをしたピョンコを見た時のコンキチの気持ちの変化について考える。 ・役割演技を通して、「ごめんよ。ごめんよ。」の後に続く言葉を考える。 ・登場人物への共感から、友達と仲良くするにはどうすればいいのかを考える。

【主題名】友達と仲良く助け合う 【友情、信頼】 B-(9)

【教材名】森のともだち（廣濟堂あかつき）

【本時のねらい】

友達によさに気づいたコンキチの思いを考慮を通して、友達と仲良く助け合うことのできる道徳的心情を育む。

【指導の要点】

コンキチの気持ちの変化と後悔する気持ちについて考えるを通して、自分のことだけでなく、周りの友達のことを考えて仲良く助け合うことの大切さに気付かせる。

【主題に関わる児童生徒の実態】

- ・自分中心の考えから、乱暴な言動になる児童がいる。
- ・軽はずみな言動から、トラブルになることがある。
- ・困っているときには、友達を助ける行動ができています。
- ・友達によさを伝えてもらうことでお互いに温かい関係作りにつながっている。
- ・自分のしたことを素直に反省できる時とできない時がある。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・自分のことしか考えられていなかったな。
- ・助けてくれる友達がいてよかった。
- ・友達と助け合うには、相手のことを考えて謝ったり、言いたいことをしっかりと伝えたりすることが大切だな。
- ・これからは仲良く助け合って友だちを大切にしたい。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との
関わりで考える
ための工夫

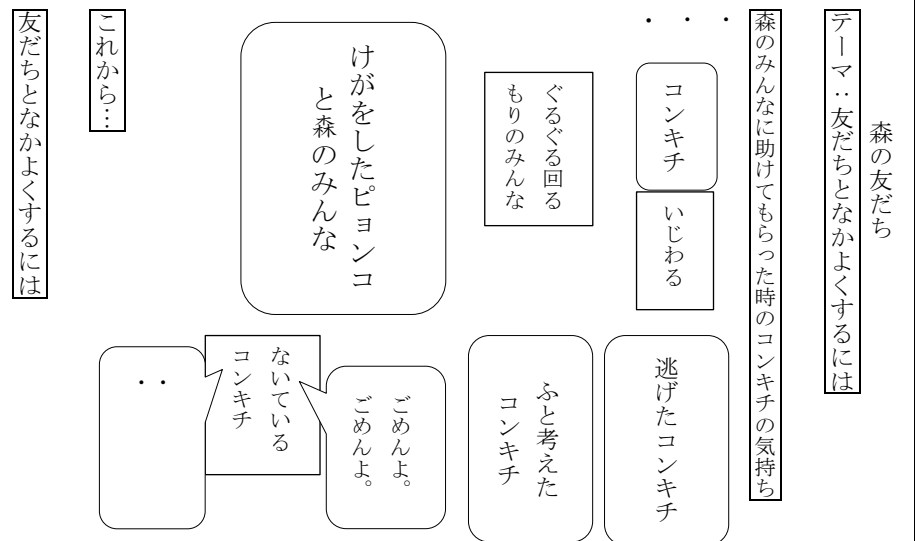
- ・役割演技や問い返しを通して、仲良く助け合うことの大切さに気付いたコンキチの気持ちに共感させる。
- ・自分が普段、友達と助け合っているかを振り返って考えさせる。

多面的・多角的
に捉えるための
工夫

- ・コンキチを助けた森の友達の思いと助けられたコンキチのそれぞれの思いの両面から捉えさせることで、助け合うことの大切さについて考えさせる。
- ・ユニットの1・2時間目の気づきを統合的に考えていくことで友達と仲良く助け合う意義を多面的に捉えられるようにする。

主題に迫るための
工夫

- ・コンキチが涙を流す理由を考えさせるため、役割演技を取り入れ即興的に演じさせるなかで言葉を引き出すようにする。
- ・友達と仲良く助け合うということについて統合的に捉え、自分の生活とつなげて考えられるよう振り返る時間を設定し、交流によりそれぞれの考えを深めさせる。



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	<p>1. 前時までに考えた「友達と仲良くするには」について考える。 ○友達と仲良くするには、どんなことが大切でしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわことばを使うこと。 ・ちゃんと謝ること。 ・自分の気持ちを伝えること。
展開	<p style="text-align: center;">テーマ：友だちとなかよくするには</p> <p>2. 前半を読み、コンキチが森のみんなに助けられた時の気持ち考える。 ○森のみんなに助けてもらった時にコンキチはどんなことを思ったのでしょうか。</p> <p>◆森のみんなはどうしてコンキチを助けたのでしょうか。</p> <p>3. 後半を読み、けがをしたピョンコを見た時のコンキチの気持ちの変化について考える。 ○一度は逃げ出したのにどうして引き返してきたのでしょうか。</p> <p>◎乱暴ばかりしていたコンキチはどうして泣き出したのでしょうか。 ・役割演技を通して、「ごめんよ。ごめんよ。」の後に続く言葉を考えさせる。</p> <p>4. 登場人物への共感から、友達の良さについて考える。 ○友達と仲良くするためにはどんなことが大切ですか。</p> <p>◆助け合うにはどうしたらいいと思いますか。</p> <p>◆どうしてそう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こわかった。 ・どうして助けてくれたのかな。 ・おかげで逃げられた。 ・助かってよかったな。 ・いじわるされたけど、同じ森の友達だから。 ・新しい友達だから大切にしなきゃいけない。 ・今まで助け合って暮らしてきたから。 ・何とかして助けなくちゃ。 ・一人逃げたのが恥ずかしくなった。 ・助けてくれた森のみんなが心配になったから。 ・一人だけ逃げてごめん。 ・自分のせいでピョンコがけがをしてしまったのか。 ・乱暴ばかりしていたぼくを助けてくれてありがとう。 ・本当にごめんね。 ・困っているときには助けたり励ましたりする。 ・謝る勇気が必要。 ・嫌なことを言ったりしない。 ・協力する。 ・友達やみんなのことを考える。 ・安心して過ごすことができるから。 ・もっとなかよくできそう。
終末	<p>5. 今日の学習を振り返る ○今日の学習を通じて、自分自身のことを考えながら思ったこと、考えたことを書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助けてくれる友達がいよかった。 ・友達と助け合うには、相手のことを考えて謝ったり、言いたいことをしっかりと伝えたりする。 ・これからは仲良く助け合って友だちを大切にしたい。

【評価の視点】

自 友達と助け合うことの良さに気づいたコンキチへの共感を基に、友達と仲良くすることについて自己との関わりの中で考えている発言や記述がみられる。

多 コンキチを助けた森の友達と助けられたコンキチの両方の気持ちを想像することで助け合うことの大切さを多面的・多角的に考えている発言がみられる。